

科目名	情報工学セミナー Seminar on Information Engineering			担当教員	全教員		
学年	4年	学期	通年	履修条件	必修	単位数	6
分野	専門	授業形式	講義	科目番号	16237019	単位区別	履修
学習目標	指導教員の下で、学生それぞれが特定のテーマについての知識、技術の習得および研究を行う。基本的には5年次の卒業研究と同じ形式で運用される。すなわち、情報工学関連のある特定の領域に関する調査、学習に引き続き、研究テーマを選定し、それぞれが問題解決へ取り組む。また、1年間の学習成果あるいは研究成果を報告書としてまとめ、それを口頭発表する。これらのプロセスを通して、情報工学の先端的知識および技術を習得するとともに、実務や新しい問題に創造的に立ち向かう方法や能力、プレゼンテーション能力を養うことを目的としている。						
進め方	卒業研究と同様に、指導教員の下で学生自身がテーマを設定し研究を行う。前期末および年度末には各自の研究成果を情報工学科の全教員とクラスの学生の前で口頭発表する。指導教員は、指導学生と定期的に打ち合わせを行う。指導に際しては、短期の目標を設定し、それに対する成果を評価するよう配慮する。						
学習内容	学習項目（時間数）			学習到達目標			
	[過去のテーマの一部・新規開講テーマ] 松下研究室 非同型部分グラフの全導出プログラム 福岡研究室 ブラックホールを含む系のCG 宮武研究室 Android端末用三豊市防災マップの開発 徳永研究室 仮想電子工作支援システムの開発 河田進研究室 時間割変更の通知システム 鱈目研究室 SQLプログラミング演習アプリの開発 河田純研究室 専攻科・大学入試問題データベースの改良 金澤研究室 伸縮性シートを用いた 画筆入力検出アルゴリズム 近藤研究室 Risa/Asirの機能改善 奥山研究室 素数の視覚化と素数の分布についての研究 川染研究室 惑星軌道の可視化 篠山研究室 商品レビューの有用度の判定			適切な研究課題が設定できる E1:1,2 研究の背景や問題点の整理・分析ができる D3:1,2 自ら問題解決のアイデアを考案し、評価できる E1:1,2, E3:1-3 アイデアに基づき、問題を解決するための活動を行える E5:1,2 研究の成果をドキュメントとして文書にまとめることができる C2:1,2, C3:1-3 研究の成果をプレゼンテーションできる C4:1-8			
評価方法	各指導教員が学生それぞれの研究の取り組み、研究成果、報告書、口頭発表、研究ノート等を評価する。						
履修要件	特になし。						
関連科目	創造実験・実習(1年)→情報処理Ⅰ,基礎工学実験・実習(2年)→ソフトウェア設計論Ⅰ,ソフトウェア設計論Ⅱ(3年) →情報工学セミナー(4年)→卒業研究(5年)→特別研究(専1年,専2年)						
教材	指導教員が個別に用意する。						
備考	この科目は指定科目です。この科目の単位修得が進級要件となりますので、必ず修得して下さい。 オフィスアワー：各担当教員に確認して下さい。						